



火災・救急件数（9月末日 現在）

◆火災 56 件【前年比 +8 件】
◆救急 17,255 件【前年比 +985 件】

令和3年度火災予防絵画展入賞作品決定

市川市内の小学校39校から、661人のみなさんが火災予防ポスターを描いてくれました。どの作品からも、火災予防の大切さが伝わってくる力作ぞろいでした。上位12作品は6作品ずつ秋と春の火災予防ポスターとして掲載させていただきます。

さらに入賞した82作品については、11月1日(月)から15日(月)までニッケコルトンプラザのセンターモールで展示させていただきますので、近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



最優秀賞(高学年の部)
八幡小学校 5年生
高松 文香 さん



最優秀賞(低学年の部)
平田小学校 1年生
佐野 心陽 さん

優秀賞
鬼高小学校 5年生
古屋 葵陸 さん



優秀賞
日出学園小学校 2年生
山本 雄晴 さん



火災予防ポスターのご応募
ありがとうございました!

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

○4つの習慣

- ・寝たばこは絶対にしない、させない。
- ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ・こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ・コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



○6つの対策

- ・火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ・火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは防火品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ・お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ・防火防災訓練に参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

11月9日～11月15日

「秋の全国火災予防運動」

がはじまります。



日勤救急隊の運用を開始しました!

市川市では、13台の救急車を運用していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、搬送先の病院が決定するまでに時間を要する「救急搬送困難事案」が増加し、市内の救急車が全て出動してしまう事態が多く発生しています。

この対応として、消防局に勤務する日勤の事務職員のうち、救急有資格者により非常用救急車を使用し、保健所などから要請のあった新型コロナウイルス陽性の方を病院まで搬送する「日勤救急隊」の運用を開始しました。



入院待機ステーションを開設

新型コロナウイルスに感染し入院調整中の方や、搬送先が決まらず救急車が現場に長時間とどまるケースが増えていることから、救急車の搬送先が決定するまでの待機場所として、入院待機ステーションを開設しました。

ここでは、救急救命士により継続的に観察を行い、酸素投与などを行います。



11月9日は119番の日

1分1秒を争う119番通報。火災や救急要請などでは、市民の方の的確な119番通報が、私たち消防の迅速な活動につながります。

令和2年中には、市川市内で27,224件の119番通報があり、その中でも携帯電話・スマートフォンからの通報が増加しています。

屋外などからの通報で、住所がわからない場合は、電柱や自動販売機に記載されている住所や、近くの目標になるような大きな建物などを伝えてください。

また、119番通報の際は、指令センターの職員から聞かれた内容について、慌てず、簡潔に教えてください。



火事・救急は119番!

【質問内容】

- ①火事が救急か
- ②現場の住所
- ③何が燃えているか
病気やケガの状態
- ④近くの目標物
- ⑤通報者の氏名、連絡先など



詳しい119番通報のしかたはこちらから
QRコード



消防活動用無人航空機(ドローン)運用開始!

10月1日(金)から、水難事故における要救助者の検索、大規模災害発生時の情報収集活動などを目的として運用を開始しました。

ドローンに搭載したカメラにより、上空から今までにない視点での消防活動が可能となり、有効な検索・情報収集が期待されます。



あんしんホットダイヤル

市川市では、通話料無料のフリーダイヤルにより、24時間・無休で利用できる「あんしんホットダイヤル」を行っています。

「夜間、休日などに診療してもらえる病院が知りたい」「急な病気やけが」など、市民の方の相談に医師、看護師、保健師などが対応しますので、お困りの際にご利用ください。

【電話番号】

0120-241-196
(市川市民専用・非通知では通話できません)

【ファックス番号】

0120-637-119(言語・聴覚が不自由な方用)

